

経営体の概要

- ・所在地：北海道別海町
- ・経営体名：(株)GATTEN
- ・経産牛頭数：133頭
- ・草地面積：110ha
- ・構成員及び従業員：家族3名、常時雇用者1名



牛舎外観

(R6年5月現在)

導入技術

- ・搾乳ロボットVMS〔(株)デラバル製〕

→搾乳ロボットにより搾乳作業が自動化となり、ロボットから得られる情報を飼養管理に活用可能。



搾乳ロボット

導入経緯

- (株)GATTENでは、多頭化に伴う搾乳作業等の長時間労働と家族経営労力を念頭として管理できる飼養頭数に限界があることが課題であった。
- そこで搾乳作業の省力化と規模拡大を目的に、H29年に「畜産クラスター事業」を活用して搾乳ロボット3台を導入し、H30年から稼働・生産開始。

取組の特徴・効果

- 搾乳ロボットを導入して、搾乳作業の省力化が可能となり、家族経営労力をベースに多頭数管理や頻回搾乳による個体乳量の上昇などの効果を確認。
- 搾乳ロボットから得られるデータを利用した、飼養管理の調整により、乳牛の周産期疾病防止や栄養改善に活用。

- ・搾乳牛頭数の増加
(H30年108頭 → R5年115頭)
- ・出荷乳量の増加
(H30年1,026t → R5年1,496t)
- ・個体乳量の上昇
(H30年9,491kg → R5年11,436kg)

- 今後は、現在の労働力で搾乳牛頭数を165頭まで増やし、出荷乳量2,000t/年を目指す。

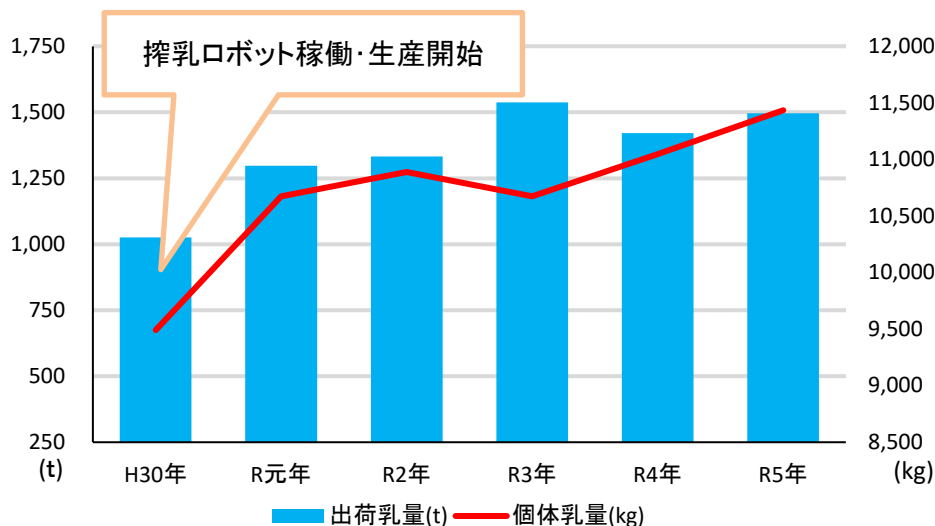


図1 (株)GATTENの出荷乳量と個体乳量の推移